

技能・技術功労士

日本三大黒松の伝統を引き継ぐ
見事な仕立ての技術

植木職 48年
大津尚楽園

おおつ としひろ
大津 俊博さん
(68歳)

日本三大黒松産地の中で、技術面で日本一といわれている三瀬の黒松。その伝統を受け継ぎ、個々の特徴を生かした安定感のある松に仕上げます。特に根元の太さ、枝の曲がり具合には高い評価を得ています。「枝を曲げる時、枝が折れるかどうか瀬戸際の力加減は鍛錬と音の判別によるもの。『これ以上、曲げたら無理』と松が言っているかのような音がします。思うように仕上がった時には『きれいになったね』と声を掛けたくなります」と、話します。現在は95%を海外へ出荷。要請があれば海外へ出向き、剪定指導を行っています。



大津さんが形を整えて管理をしている黒松